

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

電話 048-585-0605

FAX 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL <http://www.san-ai-jidouyougo.net>

社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい

第127号

2019年 6月 14日

三愛学園 広報タスク



人を愛することは

さんあい 施設長 高瀬一使徒



三愛主義の2つ目の「人を愛する」について解説します。そもそも自分を愛せない人に人を愛することは難しいことです。人間の本質をご存知のイエス・キリストは、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しないさい。」と教えます。つまり、まず自分を愛することから始めなければならないのです。では、「自分を愛する」とは、どんなことでしょうか？

聖書の創世記には、神は自分のイメージに似せて人（アダム）を創造された。そして、それは良いものであったと記されています。つまり人間は本質的に神が創造された良いものであるということです。そして自分自身を愛し隣人を愛せるものでした。しかし、その後人は罪を犯してしまい、自分自身も隣人も愛せないものになってしまいました。アダムは、自分が犯した罪を唯一のパートナーであるエバのせいにして言い逃れをしたことも聖書には記されています。そうです、罪のせいでアダムは神が創造された人の本質を失ってしまったのです。

ですから厳密にいえば「自分を愛する」とは、人が本質に立ち返らなければできないことです。つまり神に立ち帰らなければ、自分を愛することも人を愛することもできないということになります。そうです、「人を愛する」とは「神を愛する」ことに繋がっているのです。前号のさんあい新聞で触れたように、神を愛するとは誰よりも自分を愛して下さる神を信頼することです。

「人は自分が愛された分だけしか他の人を愛せない」と言われています。さんあいでは、子どもたちが毎日の生活の中で、ご飯が食べられること、安心して寝られること、健康でいること、学校に行けることを感謝でき、職員に大切にされていることを実感できるよう心がけてゆきたいと思います。そして、自分が大切にしてもらったことを他の子たちにもすること、相手が嫌なことをしないことなど、職員と子どもたちが具体的な行動を意識して生活することが、「人を愛する」の理念を具現化してゆくことだと思います。

今年のさんあい祭は、近くにある「道の駅岡部」のお祭りが同日にあったこと、35℃を超える猛暑日であったことで、来客数が減ってしまうかと不安でした。しかし、その影響はなく例年と同じ数のお客様が来てくださいました。当日のボランティアの方々やご支援者の皆様、出店して下さった皆様、そしてお出で下さったすべての方々に感謝いたします。

さんあい祭り

2019.5.26(日)

令和初めてとなりますさんあい祭りが催されました。当日は猛暑日となり、熱中症の心配をするほどでしたが、例年同様に地域の方々を始め、沢山のお客様にお越し頂きました。60名を超えるボランティアの皆様のお手伝いも本当に助かりました。キッズダンスや、太鼓でもお祭りを盛り上げて頂き、ありがとうございました。暑い中、沢山の方々のご協力のお陰で無事にお祭りが出来ました事に心より感謝いたします。



定番の木工制作

毎年恒例ミニバザー

大好評！さんあい特製カレー



かき氷が美味しかった！

交流ホールで一休み

支援者の方のお店

材木屋さんは鶴ヶ島から
来てくださいます



ナイステイさんの
焼きまんじゅう

辛くて美味しいインドネシアラーメン
「パッソ」はファンもたくさんいます



手作りのおまんじゅうやお赤飯
サーティアンダギーなどなど

新鮮なお野菜はすぐに
売り切れてしましました

HOT WAVE 龍神太鼓 鼓太郎

炎天下の中、熱いダンスと太鼓で盛り上げてくれました！



HOT WAVE 龍神太鼓 鼓太郎



炎天下の中、熱いダンスと太鼓で盛り上げてくれました！



各ホームの出し物



いちょう「おさかなつり」



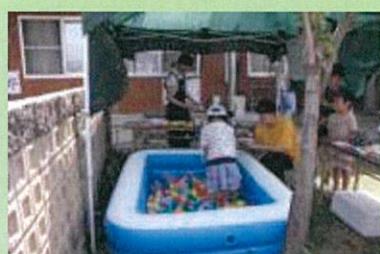
ぱぶら「アイスくじ」
「当てて当てて、ただ当てて」
「飴つきミサンガ」



もみのき「運命のくじ引き・
いつものストラックアウト」



ねむのき「スライム宝探し」
「プールボール投げ」



ひのき「ボールプールで宝探し」



かしのき「ワクワク！ピンボール！
きみのハートを狙い撃ち☆レッツ☆ダーツ」

第4回 同窓会

さんあい祭り終了後、卒園児と元職員を招いて交流ホールで第4回同窓会が行われました。今年の参加者は15名。その中には家族と一緒に参加してくれる卒園児や元職員もいて、賑やかな同窓会となりました。



bingo大会で盛り上がりました。

三愛インタビュー

第2弾は、さんあい入職6年目で現在オリーブのリーダーを担って
いただいている柳井美希職員にインタビューしました。



Q1：どんなことがきっかけでさんあい（児童養護の世界）で働くことになったのでしょうか？

元々、児童養護に興味はありました、「自分には絶対に無理」という気持ちもあり、少し避けていた所もあったように思います。しかし、いつの間にか児童養護で働きたいという思いが勝り、縁あってさんあいに就職しました。

Q2：柳井さんは、さんあい本園と一時保護ユニットオリーブの両方の担当を経験されていますが、勤務上で一番の違いはどんなことでしょうか？

年間通し、入退所があること、期間も様々という所は大きな違いだと思います。また、どちらも子ども一人一人の将来を考えるという所は変わりませんが、本園は生活を共にしながら退所に向けて一緒に準備をし、進路等も含め、支援をしていくこと、一時保護ユニットは子ども達の将来のことを思いながら保護期間中に出来ることを支援し、適切な機関や場所に繋げていくことという違いを感じています。

Q3：入職6年目ですが、一番嬉しかったこと、一番大変だったことを教えて下さい。

子ども達が何気なく書いてくれた絵や手紙は、いつももらって嬉しいです。また、まだ見送った子ども達は少ないですが、卒園生に会えることも楽しみの一つになっています。発達に課題を抱えた子が多く、どう関わればいいのか、自分の関わり方は間違っていたのではないか、暴れた時は暴れている子はもちろんのこと、回りにいる子達への配慮など自分の勉強不足を痛感し、申し訳なかったという思いと大変だったことも今の自分に繋がっており、必要な経験と出会いだったと感謝しています。

Q4：仕事のストレス解消方法を教えて下さい。

好きな場所に行き、好きなものを食べ、のんびり、楽しく過ごすことです。

Q5：今後職業人として一番大切にしてゆきたいことは何ですか？

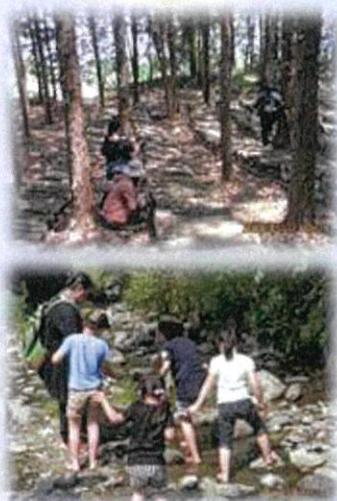
子どもの目線に立ち、何を求めているのか、理解に努めていきたいと思っています。子どもとの関わりを通して、自分に足りないことを考え、整理し、本や研修を活用しながら勉強していきたいです。

Q6：これから一時保護所の職員を目指す方々にメッセージをお願いします。

入れ替わりの多い子ども達に心が忙しなくなりがちですが、様々なケースは自分を成長させるチャンスと心に留め、丁寧なアセスメントを心掛けながら子ども達一人一人の出会いを大切にしていきましょう。



里親サロン 夏みかん



5月12日、夏みかんが行われました。里親さんとの交流の場として、2組の里親さんと2組の未委託里親さん、ボランティアの方6名とさんあいから17名の総勢32名で寄居の中間平で真っ平な関東平野をみながらお弁当を食べ、杉林の木陰でシイタケの収穫を楽しみました。丸太をひっくり返すと瑞々しいしいたけが沢山取れました。木陰を通り下りハイキング。到着した沢で沢蟹やオタマジャクシを捕まえました。沢山遊んだのでゆっくりおやつタイムと思っていましたが、子ども達は「木工したい」と言い釘と金槌を使いそれぞれのイメージしている物を作り上げていました。出来上がりを聞いてみると意外と実用的だったので考えているな～と感心していました。



開設から四度目の春を迎えました。数名の入れ替えもありましたが、六人の子ども達は、期待を胸に進学進級をしました。中学生になった女子児童は、部活・学習塾と頑張って、高校はふじ学園の生活科に行くと目標を持って、6キロの道のりを自転車で通っています。6年生になった男子児童は、進級前に放送機材の上に牛乳を乗せ溢してしまう事がありました。ルールを無視した代償は高く付きましたが、みんなで、その失敗から多くを学びました。また6月は、子ども達の成長を実感できる季節でもあります。これからもみんなで支え合いながら、子ども達にとって、安心安全な生活の場であるように努めて参ります。これからも、ご支援宜しくお願い致します。

ファミリーホーム 三愛茜の里



緊急一時保護ユニット オリーブ

最近のオリーブは、幼小中高と年齢にばらつきがあるため遊び方も様々ですが、それぞれのんびり穏やかに生活を送っています。暑くなってきたが、小学生は暑さに負けずグランドで自転車を使ったごっこ遊びを楽しんでいます。皆と協力して毎朝のポニーちゃんのお世話も欠かしません。梅雨に入り、室内遊びが中心になりますが発想豊かな子どもたちがどんな新しい遊びをうみだすのか今から楽しみです！



新しい友達

今年の4月より2歳になったばかりの新しいお友達が入所しました。入所した頃は、どの職員を見ても人見知りをして涙を流していました。

今はさんあいでの生活にも慣れてきて、外遊びが大好きで、活発に遊んでいる姿が印象的です。食欲旺盛で麺類とお味噌汁が大好き。麺類が出た日はしっかりと完食をしています。元気に生活できるように職員も見守っていきたいです。(野口)

さんあいの畑

ジャガイモ、きゅうり、ナス、トマト。夏野菜の苗を植えました。さつまいもの苗も植える予定です。さつまいも掘りは里親さんとの楽しい交流の場になればとの思いと、さんあいの「土を愛する」の精神をこの小さな畑で頑張っています。

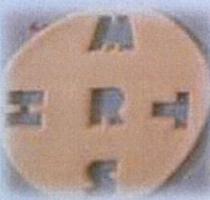
昨年のジャガイモ収穫は、暑すぎて外の活動は控えてくださいと消防署の方から注意されたので今年はどうかな?と心配です。(野田)

いちょうの広場



来たぞ10連休!イベント開催!

その名も「小麦粉を使った粘土工作会」。みんな真っ白になりながら、型抜きを使って上手に工作をしていました。実際にオーブンで焼くとまるで本物のようなパンが完成。白いオーナメントは、なんと「M=明治、T=大正、S=昭和、H=平成、R=令和」と元号がデザインされていました。子ども達の想像力に感動です!!(浅野)



親子遠足

4月24日、保育園の親子遠足でおもちゃ博物館に行きました。朝から一緒に弁当を作り、楽しみに出発しました。普段は抱っこを求める甘えん坊な子も、保育園のお友達と過ごす時間は、普段職員に見せないお姉さんな表情をしていました。遊び疲れて、帰りは少し眠そうな子ども達でしたが、とても充実した1日でした!

(國分)

わくのびキャンプ

5月のゴールデンウィークに、株式会社アバンティ様より招待で、長野県へ二泊三日で「わくのびキャンプ」に参加してきました!畑での豆まき、ベンチ作り、ピザ作り、アロママッサージなど、たくさんの体験をして笑顔いっぱいで楽しんできました!帰ってきてからは「また行きたい!」とお土産話に花を咲かせていました。(鈴木)



ぶどうの木 大掃除

5月1日に、ぶどうの木(動物小屋)の大掃除をしました。冬の間は強い北風が吹き、畑の土が土ぼこりとなって吹き付けます。一冬かけて積もったほこりをポニーちゃんが見守る中、犬小屋と棚を動かしてはき掃除をし、その後は水で流し、布団も新しいものに入れ替えました。とても綺麗になったぶどうの木では、ポニーちゃんがいつもより沢山しつぽを振って喜んでくれていました。

(村尾)

いつも暖かいご支援ありがとうございます。

*ご寄付は右記の口座にお願い致します。連絡先を入れて下さい。埼玉りそな岡部支店 普 0058888

編集後記

今年のゴールデンウィークは、新天皇即位に伴い10連休となりました。そこで職員は子ども達に色々な時間の過ごし方を提案しました。大画面テレビでのビデオ鑑賞会、工作会、ホールに設置した大トランポリンでは、天井まで届きそうなくらい飛び跳ねて楽しんでいました。職員と外出を楽しんだ児童もいました。それぞれに素敵なお出でが出来たようです。新しい令和の時代も子ども達と共に日々成長出来るよう職員一同励んでいこうと思います。

(広報タスク一同)